

2010年7月号



昨年の7月の定例会は蓼科セミナーの一環として開催、バスで茅野・諏訪まで行きましたが、早いものでもう1年ですね。会員の皆様は1才若返り、猛暑も克服、この夏も健康に過ごしましょう。

7月定例会

今回は「気」の世界を体験！・・・詳細 P.2-3

7月の定例会は20日(火)連休明けです。小山悠子先生のご紹介で、合気道の心身統一合気道会会長の藤平信一先生にお願いし、通常の講演とは一味違い、心と身体の使い方の訓練をとおして、人々が人間として本来もっている能力を発揮する方法を、実習を交えて、90分間お話して頂きます。先生は、大学でも教えておられると同時に企業幹部を対象に講演・セミナー経験も豊富です。なお、今回、都合で初めての会場、大手町のTKP 大手町カンファレンスセンターの会議室を借りました。お間違いないようご注意ください。また、定例会の終了後、「先生を囲む会」もありますので、ご希望の方は、合わせて添付FAX用紙にてお返事ください。

場所に
注意！

6月定例会・懇親会の報告

詳細 P.4-5

6月の定例会は、KYG医療会会長の宇住晃治先生に「近未来の医療はどうあるべきか？」という演題で病名による一律の医療から個人の体質、遺伝情報に合わせた医療へ、医師や病院が責任を持つ医療から患者一人一人が自分で責任をもつ医療へ、治療から予防医療へなどの方向性についてお話を聞きました。また、小山悠子先生から、「歯科と統合医療」の4回目(最終回)の「男も女もスマイル美人に」という題で、ちょっとした工夫と努力で印象をぐんとよくすることが出来るというお話を聞きました。

その他

- ・計測機器の本質は臨床統計・・・今や体組成計は半分の世帯に！・・・P.6
- ・降圧剤にちょっと深入り・・・異なるメカニズム・副作用・・・P.7
- ・高額療養費制度・・・利用するだけでなく、改善の応援も！・・・P.8
- ・医療は公共財かビジネスか ⑬患者個人の医療情報こそ最大の公共財・・・P.9
- ・「推薦図書」・・・当会ホームページの推薦図書についてのご案内・・・P.10

健康医療市民会議(KISK) 代表 梶原 拓

〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-2 東武ハイライン大門203

TEL: 03(5403)7723 FAX: 03(5403)7724 E-Mail: Info@kisk.jp URL: [http:// www.kisk.jp](http://www.kisk.jp)

お知らせ:会報は当会ホームページ <http://www.kisk.jp> の「会報」ボタンからダウンロードできます。

定例会のご案内

日 時：平成22年(2010年)7月20日(火)16時(午後4時)～18時

場 所：TKP 大手町カンファレンスセンター EAST カンファレンスルーム6

千代田区大手町1-1-2 りそな・マルハビル18F

地下鉄大手町C10出口が便利(P.3案内図参照)

参加費：会員¥2,000、同伴者・ビジター¥3,000

予 定：16:00-16:15 代表中間報告

16:15-17:45 藤平信一先生「生活の中の心身統一合気道」(下記)

なお、18:15頃から希望者のみ「先生を囲む会」があります。P.3

場所に
注意!

<講演案内>

講演「生活の中の心身統一合気道」 藤平 信一 先生 心身統一合気道会会長

現代の医療の発達にはめざましいものがあり、中世の時代に比べると、人類は、とても多くの病を克服し、長寿を享受しています。しかし、現代の人々はますます変化の激しい社会環境のなかで多くのストレスを抱えながら生活を行っており、新たな種類の病気で苦しんでいる人も増えています。医療のさらなる発展を願ってやみません。

私が会長をつとめる心身統一合気道会では、心と身体の使い方の訓練をとおして、人々が人間として本来もっている能力を発揮し、それぞれの人生に活かしていけるよう指導活動を行っております。今回は、「姿勢」と「心を静める」の観点から、皆様に心と身体の使い方の体験を交えながら講習をさせていただきますと存じます。(先生筆)

<藤平信一先生略歴>

1973年生まれ 東京工業大学 生命理工学部 卒業。幼少から合気道十段・藤平光一より指導を受け、心身統一合気道を学ぶ。現在は、心身統一合気道の二代継承者として、及び、世界24カ国、約5万人が学ぶ心身統一合気道会の会長として国内外で心身統一合気道の指導をする。また、心身統一合気道の根幹である氣の原理を人材育成やコミュニケーションスキルに活用し、経営者やリーダー、教育従事者、アスリートを対象とした講習・企業研修においても指導を行っている。2010年1月より、米国メジャーリーグ ロサンゼルス・ドジャースでの指導が始まる。慶應義塾大学では体育會合気道部の師範を務め、また、非常勤講師として一般教養の授業で心身統一合気道を指導している。著書に『心を静める』(2009年 幻冬舎刊)がある。

ご注意：

少し体を動かしますので、革靴でもかまいませんが、上着を脱ぐなど動きやすい服装になります。



会場に置いて、藤平先生の著書「心を静める」(幻冬舎・¥1260)を販売します。

定例会のご案内（続）

「先生を囲む会」のご案内

20日の定例会終了後、講師の藤平信一先生を囲んで、「先生を囲む会」（ビュフェ形式で食事と飲み物）を開きます。

時間：18時15分頃～20時頃

場所：「ブラッスリー銀座ライオン大手町ビル店」

大手町ビル B2（地下鉄 E2 または C7 出入口より）

会費：お1人¥4,000（定例会会場受付にてお支払いください。）

ご希望の方は必ず添付定例会参加申込書（FAX）にてお申し込みください。



定例会会場案内

TKP 大手町カンファレンスセンター EAST カンファレンスルーム 6

千代田区大手町 1-1-2 りそな・マルハビル 18F

りそな・マルハビル



- ・地下鉄5線（千代田・半蔵門・丸の内・東西・三田）の大手町（C10 出口）が便利。JR 東京駅からも徒歩 10 分程度です。
- ・1Fにりそな銀、マルハニチロがあります。内堀通り側入り口からお入りください。
- ・エレベーターを 18F で降り、北側の廊下を右（東）へ真っ直ぐ歩いて突き当りの部屋です。
- ・やむを得ず車で来られる場合は大手町ビルに有料駐車場があります。
- ・「先生を囲む会」の会場（大手町ビル）へは地下（C10）に入って E2 あるいは C7 から大手町ビルへ。

お知らせ

定例会今後の予定について

- ・8月はお盆を避け、第4火曜日にしました。8月24日（火）国際医療福祉大学大学院（南青山）を予定しています。講演は未定。
- ・9月は例月通り第3火曜日、21日（火）3連休明けです。会場は未定ですが、健康食品に関するオーソリティで、健康食品管理士認定協会を立ち上げた鈴鹿医療科学大学教授の長村洋一先生の講演を予定しています。
- ・10月、11月は、原則として第3火曜日の予定ですが、会場予約の関係で、変更もあり得ます。
- ・12月は第3火曜日21日（火）で、聖路加国際病院理事長の日野原重明先生の講演と会員懇親会を予定しています。98歳を超えてなお、スケジュールは2、3年先まで一杯という多忙な日々を送られている日野原先生のお話に今から期待しましょう。

第27回（6月）定例会報告（メモ）

平成22年6月15日(火)16-18.30・日本財団会議室・港区赤坂

1. 梶原代表中間報告

前回定例会の報告、この回講演の KYG 協会会長の宇住晃治先生の紹介があり、今後、同協会と強く連携して行くという報告もありました。医療改革については、長妻厚生労働大臣に「医療改革国民会議の開設」と「認知症ゼロ作戦」の提言をしたこと、前者については省内マニフェストとして明記されていることが報告されました。また、理想農法実践研究会の事業として「市民農園」の開設を企画していること、近く平塚市に「国際介護予防センター」の地域センター第1号が開設されることなどが報告されました。

2. 講演「近未来の医療とはどうあるべきか？」

ライフサイエンス研究所代表・医療法人社団 KYG 医療会会長・医学博士 宇住晃治先生



梶原代表の会と市民役との構想は同じ。私は東大を始め45年間予防医学を専門に研究。人類生体学、ニューマンエコロジー生体学。人の健康には環境が大切だが、健康づくりの予防学で日本は先進国では遅れている。「近未来の医療」の方向は健康寿命の延長。「対象」は病気（対症療法）から人へ。人の生活を重視。「形態」は「平均の医療」から、平均では処理できない「個の医療」（オーダーメイドや遺伝子差の SNP 等）へ。伝統医学では個の体質を大切にしている。「主体」は医者主導

から自己の気持重視へ。答えは人それぞれに違い、答えは自分自身、個人の自己責任だ。「目的」は「病気の治療」の部分から全体へ。遺伝子治療、再生治療、重粒子線治療等を活用の「病気の予防」へ。食・ストレス・環境や伝統医学・生命科学・民間療法が大切。「結果」のイメージは、つらい・痛い・我慢から、病気の原因の除去で、楽しい・癒し・美味しい・充実感の予防医学へ。

生命科学の普及にはエビデンス説明が大切。自分の体を理解すればイメージがわく。地球の生命38億年・生命の進化と多様性。ある目的で進化し多様化する生物の行動がある。なぜ生まれ、なぜ感情が豊かに、人を愛し・男女・親子があり、一方で憎む・悔しい・病気があるのか。病気の多くはプログラム、一部はミス。現場に原因がある。生物が増える・減る・バランスを良くするのは全ての生態系に影響。生物の全滅を避け、淘汰の経験の中で恒常性の維持が図られる。ガンになる人・ならない人・どう違うのか解くのが生命科学。1953生命の設計図 DNA の二重らせん構造が明らかになる。1976年ガン遺伝子発見、90ヒトゲノム解読プロジェクトがスタート・03解読。病気と遺伝子の関係解明の研究へ。ATGCの四つ塩基のつながり・30億文字のつながり方で、蛋白質を作る設計図がある。20万種類の蛋白質作る設計図、情報をもつ3万は解明。ヒトゲノムでは2%が使われ、98%は使われていない。意味ある配列や mRNA も読み解き、酵素の働きの解明も必要。

続いて「健康の話」として老化、活性酸素・酸化・ストレス、病気の進行・細胞異常・病気の発症等のお話。病気は遺伝要因(体質)と環境要因(食・心・休養等)があり現代医学に加え伝統医学や民間療法を活用。未病対策は予防医学の領域。生体機能の防御維持・ホメオスタシスが大切。体質や未病の考えから遺伝子治療が確立し、伝統医学等のエビデンスが可能に。補完医療から統合医療へ。「遺伝子診断の分類」酸化ストレス・発ガン物質・アルコール・肥満・塩分の感受性検査・遺伝子多型と病気原因や防御のかかわりの話。生活習慣の改善、遺伝子多型と薬の関係・副作用等と「遺伝子発現」のコントロールや働きの話。笑うと血糖値が下がる・

第27回（6月）定例会報告（メモ）（続）

講演「近未来の医療とはどうあるべきか？」（続）

音楽聴くと血圧が下がる等遺伝子発現と生命現象の関係を解明かすのが「ゲノミクス」。ハーブ・サプリメントの恒常性維持機能がわかる。

KYG 運動協会を 16 年前に設立。Know and Keep Your Genes(遺伝子)。「体質を知り・体質に応じた生活習慣の実践により・老化を遅らせ・継続的な健康管理」の市民運動を始めた。遺伝子の中身や環境等によるその発現行動が大切。以下は私見。生体と進化。ネズミの実験でネズミが増えると、急に病気が増える・妊娠しなくなる。遺伝子が環境に合わせて免疫力を下げる・妊娠しなくすることを個体に命令か。これを人間に適用すると、人を動かす寿命コントロールのスイッチが ON で、ホメオスタシスの免疫機能を正常に保つか狂わせるか。難破船での体験記から、本当に絶望感があるとそこに食糧があっても、食欲がなくなり死んでしまうようだ。絶望感が人間の寿命のプログラムを ON にするのか。環境と心の持ち方のすごい力、人間の健康も自然や社会の環境と心の持ち方が大切だ。生体のスゴイ機能のお話で満場の拍手喝采が続く。会場の質問「ガンや認知症もメッセージか」「遺伝子検査でやってよかったと思うものは」「アルツハイマーの検査は」に、「気持のコントロールが大切。生き甲斐を持った生活が大切」「タバコの影響など差があり改善可能なものはすごく意味がある」「若年性のもは可能」と力強くお答え。配布資料「Genessa19 号・日本の未来は元気かな石原都知事と宇住先生対談・近未来医療講座 1 と 2」等。

3. ドクターのワンポイント・レッスン「歯科と統合医療シリーズ④ 男も女もスマイル美人に」

明德会サンデンタルクリニック院長・医学博士 小山悠子先生

歯科医療と統合医療。まず歯根について歯がなくなると今まではブリッジか入れ歯で対応。インプラントは 30 年前に京セラ材で始まりチタンの棒を骨の中に植える。すごく良くなってきたが、神経との関連も大切で、失敗例もあり良い先生を選ぶことが大切。一年すると慣れる。タバコを吸う人にはインプラントはだめ。タール・ニコチン・CO2 も影響。



「スマイル美人」にはまず歯茎の色。歯磨き剤には歯茎に良くないものもあり、口の粘膜が侵され、味も分からなくなることも。利用者の「アワがでる・スキットする」の要求に対応しているから。カイワレ大根や藍の苗と水・素材の違いの経時比較の写真をご説明。口腔内での金属アレルギーの影響と電位差の関係のお話も。

歯の色もホワイトに、また左右両方の歯で噛むこと大切。白く綺麗な 8 本の上歯と上向き口角のカーブが大切で、顔がきれいに見える。口角下筋や大頬骨筋で口角を上げウイングスマイルに。訓練補助の両端 30 度角の「ビューティースマイルトレーナー」の活用も。次いで口に割箸を咬みながらの、おでこは動かさずにマブタを上げる運動の実演指導。電車の中で宣伝の中ずりを見ながらでも可能。舌根部の上気道の訓練や口・ベロ・くちびるの筋肉運動が効果。唇の体操には「カタパラ」の活用も。一日 4 回。口が締まって良い顔に。小さい筋肉ですぐ効果が。脊髄を真直ぐ運動や股関節を持ち上げ体を伸ばして毎日歩くと 100 歳健康。足の運動も大切。足の指先使いグー・チョキ・反チョキ・パーで足の筋肉強く。使用しない筋肉は萎縮し使用する筋肉は発達。エネルギーッシュな統合医療と実践健康法に拍手喝采が続きます。会場の質問「金属アレルギー対策は」「認知症効果は」に「セラミックか、同電位の金属の利用」「認知症対策で脳の活動の 1/3 は口、口を動かす運動、足の指の運動大切。足運動は最初は寝てやっても良い。手の指の運動も大切。踵上げ運動、次いでストレッチ体操へ」と締めくくられ再度拍手喝采。

計測機器の本質は臨床統計

今や体組成計は半分の世帯に！

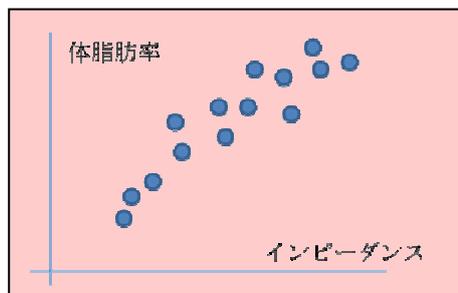
最近気づいたことですが、体の電気抵抗（インピーダンス）を測定して、体脂肪率などを測る体脂肪計とかもっと進んだ体組成計などの家庭普及率が45%にもなり、特に最近では1年で10ptsも増えているとのこと。確かに、今、電器店を見ても体重だけを測るものほとんどなくほとんど体組成計一体型。健康志向もここまで来ているというのが実感です。

ところでこの体組成計の原理をご存知でしょうか。共通して言えることは、機械が直接測定するのはあくまで、微弱な電流を流して得られる体の電気抵抗です。その抵抗値と、別の、より正確な方法での測定値との相関を統計的に分析し、そこから得られた計算式（アルゴリズム）をあてはめて計算し、推定値を出しているわけです。



まず、電気抵抗ですが、中学の理科に出てきそうな、筋肉は電気を通しやすいが、脂肪はほとんど通さない、という原理により、通電して見て、筋肉質な人は電気抵抗値が小さく、脂肪の多い人は抵抗が大きくなります。また、電気抵抗は距離が長いほど大きくなるので、身長をインプットすることによって、例えば、両手の間隔とか、右手と左足の距離などを推定して調整します。

次に体脂肪率について、今のところ、もっとも正確に測定出来る方法とされているのが体全体の比重です。つまり、筋肉の比重は1.1前後、脂肪の比重は0.9前後と2割程度の開きがあるので、比重の大きい人は筋肉質、小さい人は体脂肪の多い人だと言えます。では体全体の比重はどうやって測るか。これは水中秤量法といって、実際の体重と完全に水中に沈んだ状態での体重測定値との比較で、いわばアルキメデスの原理を使って出します。概念的には、電気抵抗値と比重という二つ



の要素が揃えば、体脂肪率も簡単に出るはずですが、現実にはそんなに簡単ではありません。まず、電気抵抗ですが、食事の内容とか、食前、食後、運動の後かどうかににおいても変わります。測定する際の姿勢によっても変わり得ます。比重についても食事などの影響はあります。年齢やBMIによって修正する必要もあるかも知れません。

体組成計に限らず、計測機器についての一般論として、見かけが立派な機械を見るとつい機械自体に価値があるとか機械は客観的と感じがちですが、このような計測機械の本質は結局、原理、仮説の下、いかに統計的に信用できる臨床試験をしたか、またそこから得られる統計データを正しく読んだかが問題です。サンプル数（非試験者）が少なければ、統計的に歪む可能性もあり、また、出てきたデータを読むのも人の判断が極めて大きいことを認識しておくべきでしょう。計測機器についても薬の治験と同様、統計的に十分な数のサンプル数をバイアスのかからない条件下で試験・測定をするには大変なお金がかかるので、多くは医療機器としての認定を受けるに至っていません。また、臨床試験に億単位のお金を投じてても必ずしも仮説を立てて期待した通りの結果が出るとは限らないのがメーカーには厳しいところです。メーカーの開発努力には拍手を送る一方、逆に、機械を使って健康をチェックする場合には、原理を認識し、過度の信用は避けることも必要でしょう。

降圧剤にちょっと深入り

異なるメカニズム・副作用



平成 20 年国民健康・栄養調査によると高血圧症の人は 5000 万人と推定され、40～74 歳の人の 23%が降圧剤のお世話になっているようです。日本は降圧剤の消費量では世界有数で、以前、医薬品のベストセラーには降圧剤がずらり並んでいるという話もしました。降圧剤は、動脈硬化を防ぎ、脳、心臓の血管障害を予防するための言わば「予防薬品」と言えますが、降圧剤にも種類があり、調べてみるとその降圧のメカニズムもいろいろです。果たして大きな違いがあるのかどうか、今回、ちょっと降圧剤に入り込んで、その種類と降圧のメカニズムとか可能性のある副作用を見てみました。その主なものをまとめたのが下表です。

降圧剤種類例	アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤(ARB)	カルシウム拮抗剤	アンジオテンシン変換酵素(ACE)阻害剤	利尿薬	β遮断薬
薬品(商品名)例	ディオバン(ノバルティス)、プロプレス(武田)、コザール(メルク)、アバプロ(サノフィ)	ノルバスク(ファイザー)、アムロジン(大日本住友)、アダラート(バイエル)	カプトリル(第一三共)	ラシックス(サノフィ・アベントリス)	ケルロング(田辺三菱)、セロケン(アストラゼネカ)
直接の効果	血管を収縮する作用のあるアンジオテンシンⅡの受容体に拮抗し末梢血管を広げて血圧を下げ、心臓、腎臓の負担を減らす。	血管が収縮する原因となるカルシウムイオンが細胞内に入ることを抑制することで血管を広げ心拍数を抑える。血流を改善。	血管収縮する酵素(ACE)の働きを阻害し、血圧を下げる。利尿作用。	尿量を増し、余分な水分、ナトリウム、カリウムを排泄し血圧を下げる。	交感神経のβ受容体に作用し、血管の緊張を和らげる。心臓から送られる血液量を抑えて末梢神経を広げる。
可能性のある副作用	動悸、めまい他	頭痛、動悸、めまい他	眩暈、動悸、咳他	過敏症、めまい、耐糖能低下(糖尿)、低カリウム他	手足の冷え、息切れ、末梢血管循環低下他
禁忌または要注意の人	妊娠、高カリウム血症、腎動脈狭窄症	徐脈、心不全	妊娠、血管神経性浮腫、高カリウム血症	痛風、低カリウム血症、妊娠、耐糖能異常	耐糖能異常、閉塞性肺疾患、末梢動脈疾患

特定ホルモンの分泌とか塩分に対する感受性などが人種によっても異なり、本来は遺伝的な要素も考慮して降圧剤を選択すべきとも言われています。また、欧米では有効性を 2 種類の降圧剤を服用するのがかなり普通になってきており、初めから 2 種類に薬剤を配合した商品も日本でも出回り始めました。当会会員もかなり多くの方々が高血圧剤を服用されていると思いますが、通常、患者は降圧剤を自分で選ぶことはしません。しかしながら、出来れば、医師がどのような判断でどの降圧剤を処方しているかお聞きになってはいかがでしょうか。

さて、降圧剤は 60 年ほどの歴史があり、降圧剤＝利尿剤というような時代もありました。降圧剤は欧米を中心に、新薬が次々と開発されてきたわけですが、日本には、直接の降圧効果は認めても、降圧剤の服用の有効性が十分議論されていないと言います。特に、最終的に寿命を延ばすかというようなことを実証する研究はほとんどないのが実情のようです。したがって、少数派ではありますが、降圧剤の使用だけでなく、血圧を下げることも自体にも反対している医師さえいるようです。

高額療養費制度

利用するだけでなく、改善の応援も！



入院を伴うような病気にかからないとなかなか意識できませんが、健康保険を使っても治療費が高額になる場合には、1か月の自己負担に限度を設けている、高額療養費の制度があります。当会医療改革懇談会で書記をしてもらうなどお世話になっている東大医科研の児玉有子さんも改善を訴え、努力されている記事を見て、応援する気持ちでこの制度に注目しました。この制度は、保険対象の治療について、自己負担が一定の金額を超える合には、その超えた分の支払いは免除される仕組みで、制度自体はすでに田中角栄さんの時代の1973年にスタート。自己負担の上限は当初は3万円でしたが、所得や物価の上昇とか医療財政の悪化などにより徐々にアップ。現在は、一般的な人の場合、およそ8万円です。適用に当たっては結構細かいルールがあり、もし、入院されるような病気になった場合には、病院、加入されている健保組合あるいは市町村に相談しましょう。

この制度も皆保険制度と並んで患者・市民には大変有り難い制度と言えます。しかしながら、社会の変化とともに寿命も延び、病気の種類も変化し、医療も変化、進歩しつつあり、制度の改正の必要性も出てきています。特に問題なのは、慢性の病気とか長期の治療が必要な病気で、しかも治療費が高額な人の治療費をどうするかは大きな問題です。最近では、副作用の少ない分子標的治療薬として知られる抗がん剤ハーセプチンの例があります。この薬はHER2というたんぱく質を過剰にもつ（陽性の）人の転移性乳がんの治療に使われ、2001年より保険が適用になり、国内で年間300億円を売り上げる重要な薬になっています。ただ、1年間の投与が標準ということで、薬剤だけで1人年300万円を超す費用が必要となります。保険適用しても制度の自己負担の上限の金額の支払が続くことになり、病気のせいで仕事が出来ない人、相当の収入、貯金がない人は大変です。このハーセプチンは同じようにHER2を過剰に持つ人の進行・再発胃がんへの適用も申請中で、承認されると6~7000人の患者が該当するようですが、支払い金額を考え、投与をためらう人もかなり出てくるのではないのでしょうか。

もう一つ考えなくてはいけないのは、この制度はあくまで保険対象の治療に適用されるもので、医療の進歩、高度化に伴う高額な治療には適用されないという現実があります。前述のハーセプチンにしても、保険適用の条件が厳しく、やむなく自己負担で治療している人もかなりいると聞くと、今後、患者数の少ない病気の治療や薬剤に焦点が移ってゆくと治療費は高額化しがちになることも予想されます。また、以前報告したように、混合診療の問題もあります。仮に保険対象の治療費が500万円でも対象外の50万円の治療を組み合わせれば全額550万円が自己負担となるようになっており、高額療養費制度も適用されないことになります。

制度の利用に一言アドバイス！

最近この制度の利用に失敗した筆者から注意を一言・・・ 1か月は暦月単位で計算するので、出来れば、入院、手術は月初にするとか、費用を出来るだけ同じ月内に押し込めた方が得策です。2か月にまたがって医療費が発生すると、仮に2か月で合計16万円、それぞれの月に8万円の費用が発生した場合には、この制度の恩恵はありません。

さて、ハーセプチンを仮に7000人の対象胃がん患者が使い始めると計算上200億円の医療費増となります。これが大きいかわ小さいかわ、議論はあるでしょうが、寿命は収入や資産が多いほど長いという強い相関関係があるような国は近代文明国家ではないという意識をもちたいものです。

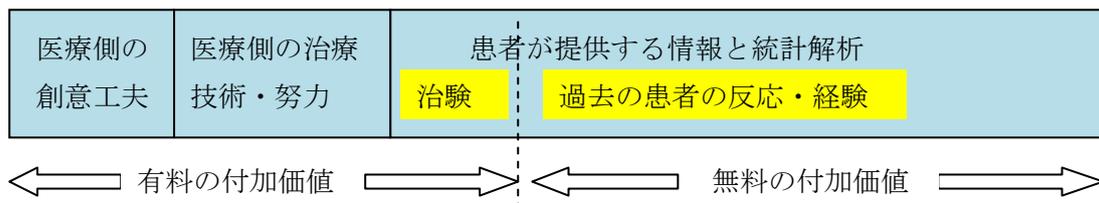
患者・市民も考えよう

医療は公共財かビジネスか

⑬患者個人の医療情報こそ最大の公共財

先日ある手術のため全身麻酔をする機会があり、何万人に1人は死に至るような副作用がありますが、といった事前承諾を求められた。また、一般的に、最近はあるがんのあるステージの患者に対し、この治療法による5年生存確率は？%ですがどうでしょうか、といったことも尋ねられる。このようなシリアスな場合は確かに患者も統計的な確率が気になるが、実際問題としては、多くの場合、医師が統計的確率に基づいた判断をし、治療を施す。そこで、医療とは何かと考える時、ひとつの見方は「医療とは統計なり」という答えはどうだろうか。確かに医療は、治療の技術とか、治療に使われる機器とか薬品を想起するのは当然だが、ちょっと引いてみると、すべて医療は過去の患者から得られた情報の統計に基づいており、患者は言わばサンプルである。その情報は治験の

医療の付加価値連鎖



時のように有料の（お金がかかる）場合もあるが、普通は個人名を除いて**只で提供されている**。たとえ只であっても、価値という面からすれば、圧倒的に大きいのではないか。具体的に言えば、たとえば、ある治療を受けたとすれば、その患者が治ったり治らなかつたり、副作用があつたりなかつたり、ある期間後に死んだりというような反応をする。患者は生まれて、医師にかかつたり、薬のお世話になつたりし始めた最初の時点から医療側にそのような医療情報を提供しているわけで、全体として見れば、その情報は膨大である。その反応情報は、時には、その医師あるいはその病院だけに留まることもあり、時には医療世界全体に広がるが、何らかの統計的根拠を育成し、継続なり、変更なり、それぞれの中で標準化してゆく。どんな治療法であれ、どんな薬であれ、患者からの情報による統計があつて、初めて価値が生まれる。これは、新治療法とか新薬の治験の場合などといった狭い範囲のことを言っているわけではなく医療の積年の経験の蓄積であるということである。したがって、まさに**患者からの情報こそもっとも価値のあるもので最大の公共財**という見方が正しいのではないか。つまり、我々が治療を受ける場合にもっともお礼を言うべき人は情報提供者である過去の患者さんたちであると言いたい。医療は消費財（サービス）だから、消費者である患者が中心でなければいけない、という論理と同じ程度に、患者は情報提供者だから、患者が医療の中心でありもっと胸を張ろうという論理もいいのではないか。

さて、このような統計は、治療だけでなく、罹患率にもある。たとえば、一生に男性ががんと診断される確率は49%、女性は37%であるとか。タバコを吸う人は吸わない人に比べ肺がんの罹患率は4.5倍、喉頭がんは32倍とか。公平性の面からもやはりタバコ税は必要だろう。

推薦図書

当会ホームページには推薦図書のコーナーがあります。講演して頂いた先生の著書とか、会員の方から推薦のあった本をリストアップしています。ホームページからアマゾンを通じて購入も可能です。健康医療に関する本で他の会員にお奨めしたい本がありましたらお知らせください。また、興味があれば当会ホームページを通じてお求めください。注文方法は下記の通りです。

今回、先月の宇住先生の「あなたの遺伝子の損傷がわかる」と今月の藤平先生の「心を静める」を追加しました。



<現在の推薦図書リスト>

本のタイトル	著者	出版社	価格
心を静める	藤平 信一	幻冬舎	¥1,260
あなたの遺伝子の損傷がわかる	松永 政司 宇住 晃治	東急エージェンシー	¥1,050
脳疲労に克つ	横倉 恒雄	角川 SSC 新書	¥777
ガンがゆっくり消えていく	中山 武	草思社	¥1,365
水素の可能性	及川 胤昭 内藤 真礼生	扶桑社	¥1,470
音楽力	日野原 重明 湯川 れい子	海竜社	¥1,470
凜(りん)としたシニア	榊原 節子	PHP 研究所	¥1,365
ベンチャーに生きる	今野 由梨	日本経済新聞社	¥1,680
焼灼療法	島田 修 水野 修一	たま出版	¥1,260
美顔術	小山 悠子	講談社	¥1,365
がんを治す食事療法	帯津 良一 上野 圭一	法研	¥1,575
代替医療のすすめ	渥美 和彦 広瀬 輝夫	日本医療企画	¥1,680
冷えを取れば万病が治る!	川嶋 朗	宝島社	¥580
「O-リングテスト」超健康レッスン	大村 恵昭	主婦と生活社	¥1,050
幸せはガンがくれた	川竹 文夫	創元社	¥1,575
女性の病気と腹腔鏡	堤 治	かまくら春秋社	¥1,260
認知症が目に見えて良くなる改善プログラム	小川 真誠	亜紀書房	¥1,785
脳梗塞はなる前に治せる!	金澤 武道	健康ジャーナル社	¥1,365
日本の医療が危ない	川渕 孝一	筑摩書房	¥756
自己治癒力を高める	川村 則行	講談社	¥840
がんはなぜ生じるか	永田 親義	講談社	¥987
あやしい健康法	徳永 太 竹内 薫 藤井 かおり	宝島社	¥735

<注文方法>

- ・当会ホームページ <http://www.kisk.jp> へアクセスします(“kisk” で Google 検索されても速いです)。
- ・帯状に横に伸びた緑色のメニュー群の「5. 推薦図書」をポイントし、サブメニューからお好みのカテゴリーをクリックします。
- ・本を見つけましたら、画像をクリックすると、該当する本の Amazon のページに飛びます。右側の「ショッピングカートに入れる」をクリックし、注文手続を行います。初めてご利用の場合、Amazon アカウントを作成します。住所、支払い方法(代金引換、クレジットカード等)などを記入します。
- ・注文を完了しましたら、1日~2日で本が到着します。

FAX : 03-5403-7724 健康医療市民会議宛て

定例会参加申込書

送信日 月 日

ご氏名 :

第28回(7月)定例会 7月20日(火) TKP 大手町カンファレンスセンターに

A. 参加する B. 参加しません

同伴者、住所変更などご連絡事項がありましたらお知らせください。

定例会後の「先生を囲む会」(銀座ライオン大手町ビル店)に、

A. 参加する B. 参加しません

同伴者などご連絡事項がありましたらお知らせください。

患者・市民本位で健康医療を考え、行動します

健康医療市民会議(KISK) 代表 梶原 拓

〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-2 東武ハイライン大門203

TEL: 03(5403)7723 FAX: 03(5403)7724 E-Mail: Info@kisk.jp URL: [http:// www.kisk.jp](http://www.kisk.jp)